



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月14日

上場会社名 三谷商事株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8066 URL https://www.mitani-corp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三谷 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 三谷 聡一郎 (TEL) 0776-20-3116
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	235,732	11.2	15,257	4.3	17,283	8.3	10,340	10.3
2022年3月期第3四半期	211,976	—	14,626	6.2	15,962	4.9	9,375	4.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 13,343百万円(21.1%) 2022年3月期第3四半期 11,022百万円(8.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	115.05	115.00
2022年3月期第3四半期	98.84	98.80

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2021年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	268,624	164,527	53.6
2022年3月期	250,299	156,134	54.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 143,854百万円 2022年3月期 136,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	64.00	—	18.00	—
2023年3月期	—	18.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	16.00	34.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期の1株当たり配当額については、第2四半期末は株式分割前、期末は株式分割後の配当額を記載しており、株式分割後に読み替えた場合は、第2四半期末配当額は1株当たり16円、年間配当額は1株当たり34円となります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	1.9	18,400	△11.3	20,100	△11.4	12,300	△5.9	137.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	120,008,548株	2022年3月期	120,008,548株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	30,465,114株	2022年3月期	29,501,851株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	89,884,174株	2022年3月期3Q	94,858,646株

(注) 2021年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9
<参考資料>	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,357億32百万円（前年同四半期比11.2%増）となりました。売上高の増加要因としましては、前年同四半期に比べて石油製品の価格が上昇したこと、海外事業の売上が為替の影響で増加したこと、建設資材の販売が好調であったこと、 Gondola事業が好調であったことなどがありました。

営業利益につきましては、152億57百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。ケーブルテレビ事業で既存インフラの同軸ケーブル網を光ファイバーケーブル網へ転換するF T T H化(Fiber To The Home)に伴い費用が増加したこと、情報部門において半導体不足に伴い引き続き案件が延期されていることなど、マイナスの影響がありました。その一方で、Gondola事業が前期に引き続き好調であったこと、建設資材の販売が好調であったこと、海外事業の利益が為替の影響で増加したこと、風力発電事業において今期は風車の停止を伴う修繕が少なく稼働率が改善したことなど、プラスの影響がありました。以上のことにより、営業利益は増益となりました。

営業外損益におきましては、当期は円安の影響を受け為替差益となったことなどにより、経常利益は172億83百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

この結果、税金等調整前四半期純利益は169億46百万円（前年同四半期比9.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億40百万円（前年同四半期比10.3%増）となりました。

<セグメント別の概況>

情報システム関連事業

情報システム関連事業におきましては、売上高は168億95百万円（前年同四半期比1.8%減）となり、営業利益は22億5百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

売上高、営業利益につきましては、物流向けの自社パッケージシステムや法人向けPCの販売が好調であったことによる増加もありましたが、半導体不足に伴い学校向けの案件や画像処理の自社パッケージシステムの販売が下期以降に伸びていたことによる減少があり、減益となりました。

企業サプライ関連事業

企業サプライ関連事業におきましては、売上高は1,206億50百万円（前年同四半期比17.9%増）となり、営業利益は127億38百万円（前年同四半期比12.7%増）となりました。

売上高につきましては、前年同四半期に比べて石油製品の価格が上昇したこと、海外事業の売上が為替の影響で増加したこと、建設資材の販売が好調であったこと、Gondola事業が好調であったことなどにより増加となりました。

営業利益につきましては、Gondola事業が前期に引き続き好調であったこと、建設資材の販売が好調であったこと、海外事業の利益が為替の影響で増加したこと、風力発電事業において今期は風車の停止を伴う修繕が少なく稼働率が改善したことなどにより、増益となりました。

生活・地域サービス関連事業

生活・地域サービス関連事業におきましては、売上高は981億87百万円（前年同四半期比6.3%増）となり、営業利益は20億92百万円（前年同四半期比16.2%減）となりました。

売上高につきましては、前年同四半期に比べて石油製品の価格が上昇したことにより増加しました。

営業利益につきましては、ケーブルテレビ事業で既存インフラの同軸ケーブル網を光ファイバーケーブル網へ転換するF T T H化(Fiber To The Home)に伴い費用が増加したことなどマイナスの影響があり、減益となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,686億24百万円となり、前連結会計年度末と比べて183億24百万円増加しました。

流動資産は2,094億91百万円となり、前連結会計年度末と比べて177億31百万円増加しました。

固定資産は591億32百万円となり、前連結会計年度末と比べて5億93百万円増加しました。

負債合計は1,040億96百万円となり、前連結会計年度末と比べて99億31百万円増加しました。

純資産合計は1,645億27百万円となり、前連結会計年度末と比べて83億93百万円増加しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月7日に公表いたしました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の連結業績予想につきましては変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	89,904	97,406
受取手形、売掛金及び契約資産	71,822	74,896
電子記録債権	8,716	11,972
リース投資資産	1,776	1,794
商品及び製品	7,445	9,908
仕掛品	1,896	1,072
原材料及び貯蔵品	2,459	5,176
その他	7,784	7,327
貸倒引当金	△46	△65
流動資産合計	191,760	209,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,871	12,534
機械装置及び運搬具（純額）	10,920	9,912
工具、器具及び備品（純額）	2,156	2,174
土地	11,462	11,419
その他（純額）	552	508
有形固定資産合計	37,964	36,548
無形固定資産		
のれん	887	708
その他	1,350	1,297
無形固定資産合計	2,237	2,006
投資その他の資産		
投資有価証券	12,218	14,534
その他	6,148	6,072
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	18,336	20,577
固定資産合計	58,538	59,132
資産合計	250,299	268,624

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	57,912	68,684
短期借入金	4,762	5,916
未払法人税等	3,431	1,244
契約負債	3,188	3,878
賞与引当金	2,248	1,544
工事損失引当金	468	336
投資損失引当金	81	-
その他	9,222	10,098
流動負債合計	81,317	91,703
固定負債		
長期借入金	3,684	2,869
役員退職慰労引当金	974	945
退職給付に係る負債	1,460	1,475
資産除去債務	4,159	4,184
その他	2,569	2,917
固定負債合計	12,847	12,392
負債合計	94,165	104,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,008	5,008
資本剰余金	3,609	3,682
利益剰余金	149,895	156,999
自己株式	△23,155	△24,584
株主資本合計	135,358	141,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855	888
為替換算調整勘定	168	1,854
退職給付に係る調整累計額	49	5
その他の包括利益累計額合計	1,072	2,748
新株予約権	17	17
非支配株主持分	19,684	20,655
純資産合計	156,134	164,527
負債純資産合計	250,299	268,624

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	211,976	235,732
売上原価	178,111	199,616
売上総利益	33,865	36,116
販売費及び一般管理費	19,238	20,858
営業利益	14,626	15,257
営業外収益		
受取配当金	259	219
固定資産賃貸料	276	305
持分法による投資利益	-	597
為替差益	269	518
その他	1,132	1,107
営業外収益合計	1,937	2,748
営業外費用		
支払利息	58	85
売上割引	82	78
持分法による投資損失	76	-
その他	384	558
営業外費用合計	601	722
経常利益	15,962	17,283
特別利益		
補助金収入	-	316
その他	56	17
特別利益合計	56	334
特別損失		
固定資産圧縮損	31	313
制度移行時調整金	487	293
その他	82	63
特別損失合計	602	670
税金等調整前四半期純利益	15,416	16,946
法人税、住民税及び事業税	4,078	4,504
法人税等調整額	618	766
法人税等合計	4,697	5,270
四半期純利益	10,719	11,675
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,343	1,335
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,375	10,340

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,719	11,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167	△41
為替換算調整勘定	488	1,752
退職給付に係る調整額	△351	△44
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	0
その他の包括利益合計	303	1,667
四半期包括利益	11,022	13,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,585	12,016
非支配株主に係る四半期包括利益	1,436	1,326

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報システム 関連事業	企業サプライ 関連事業	生活・地域 サービス 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,211	102,370	92,395	211,976	—	211,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,293	52,222	9,160	62,677	△62,677	—
計	18,505	154,592	101,556	274,653	△62,677	211,976
セグメント利益	2,562	11,298	2,498	16,360	△1,733	14,626

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,733百万円は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	情報システム 関連事業	企業サプライ 関連事業	生活・地域 サービス 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,895	120,650	98,187	235,732	—	235,732
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,464	55,962	8,611	66,039	△66,039	—
計	18,359	176,613	106,799	301,772	△66,039	235,732
セグメント利益	2,205	12,738	2,092	17,036	△1,778	15,257

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,778百万円は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計の金額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	情報システム 関連事業	企業サプライ 関連事業	生活・地域 サービス 関連事業	合計
一時点で移転される財	13,797	95,515	86,993	196,306
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	3,414	5,152	5,401	13,968
顧客との契約から生じる収益	17,211	100,668	92,395	210,274
その他の収益	—	1,701	—	1,701
外部顧客への売上高	17,211	102,370	92,395	211,976

（注）「その他の収益」には、リース取引により生じた収益等を含めております。

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	情報システム 関連事業	企業サプライ 関連事業	生活・地域 サービス 関連事業	合計
一時点で移転される財	13,490	112,812	92,647	218,951
一定の期間にわたり移転される 財又はサービス	3,404	6,164	5,525	15,095
顧客との契約から生じる収益	16,895	118,977	98,173	234,046
その他の収益	—	1,672	13	1,686
外部顧客への売上高	16,895	120,650	98,187	235,732

（注）「その他の収益」には、リース取引により生じた収益等を含めております。

<参考資料>

比較連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

期 別 科 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)		当第3四半期末 (2022年12月31日)		比較 増減 金額
	金額	構成比	金額	構成比	
(資産の部)		%		%	
流動資産	191,760	76.6	209,491	78.0	17,731
現金及び預金	89,904		97,406		7,502
受取手形、売掛金及び契約資産	71,822		74,896		3,074
電子記録債権	8,716		11,972		3,256
リース投資資産	1,776		1,794		17
棚卸資産	11,801		16,158		4,356
その他	7,784		7,327		△456
貸倒引当金	△46		△65		△19
固定資産	58,538	23.4	59,132	22.0	593
有形固定資産	37,964	15.2	36,548	13.6	△1,415
建物及び構築物	12,871		12,534		△337
機械装置及び運搬具	10,920		9,912		△1,008
工具、器具及び備品	2,156		2,174		17
土地	11,462		11,419		△43
その他	552		508		△43
無形固定資産	2,237	0.9	2,006	0.7	△231
のれん	887		708		△178
その他	1,350		1,297		△53
投資その他の資産	18,336	7.3	20,577	7.7	2,240
投資有価証券	12,218		14,534		2,316
その他	6,148		6,072		△75
貸倒引当金	△30		△30		△0
資産合計	250,299	100.0	268,624	100.0	18,324

比較連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

期 別 科 目	前連結会計年度 (2022年3月31日)		当第3四半期末 (2022年12月31日)		比較 増減 金額
	金額	構成比	金額	構成比	
(負債の部)		%		%	
流動負債	81,317	32.5	91,703	34.1	10,386
支払手形及び買掛金	57,912		68,684		10,771
短期借入金	4,762		5,916		1,153
未払法人税等	3,431		1,244		△2,186
契約負債	3,188		3,878		689
賞与引当金	2,248		1,544		△703
その他	9,773		10,434		661
固定負債	12,847	5.1	12,392	4.6	△455
長期借入金	3,684		2,869		△814
役員退職慰労引当金	974		945		△29
退職給付に係る負債	1,460		1,475		15
資産除去債務	4,159		4,184		25
その他	2,569		2,917		348
負債合計	94,165	37.6	104,096	38.8	9,931
(純資産の部)					
株主資本	135,358	54.1	141,106	52.5	5,747
資本金	5,008	2.0	5,008	1.9	-
資本剰余金	3,609	1.4	3,682	1.4	72
利益剰余金	149,895	59.9	156,999	58.4	7,103
自己株式	△23,155	-	△24,584	-	△1,428
その他の包括利益累計額	1,072	0.4	2,748	1.0	1,675
その他有価証券評価差額金	855	0.3	888	0.3	33
為替換算調整勘定	168	0.1	1,854	0.7	1,686
退職給付に係る調整累計額	49	0.0	5	0.0	△44
新株予約権	17	0.0	17	0.0	-
非支配株主持分	19,684	7.9	20,655	7.7	970
純資産合計	156,134	62.4	164,527	61.2	8,393
負債・純資産合計	250,299	100.0	268,624	100.0	18,324

比較連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

期 別 科 目	前第3四半期累計 自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日		当第3四半期累計 自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日		比較 増減	前期比
	金額	百分率	金額	百分率	金額	比率
売上高	211,976	100.0	235,732	100.0	23,755	111.2
売上原価	178,111	84.0	199,616	84.7	21,504	112.1
売上総利益	33,865	16.0	36,116	15.3	2,251	106.6
販売費及び一般管理費	19,238	9.1	20,858	8.8	1,620	108.4
営業利益	14,626	6.9	15,257	6.5	630	104.3
営業外収益	1,937	0.9	2,748	1.2	810	
受取配当金	259		219		△40	
為替差益	269		518		248	
その他	1,408		2,010		601	
営業外費用	601	0.3	722	0.3	120	
支払利息	58		85		27	
その他	543		636		93	
経常利益	15,962	7.5	17,283	7.3	1,320	108.3
特別利益	56	0.0	334	0.1	278	
特別損失	602	0.3	670	0.3	68	
制度移行時調整金	487		293		△194	
その他	114		377		262	
税金等調整前四半期純利益	15,416	7.3	16,946	7.2	1,530	109.9
法人税、住民税及び事業税	4,078	1.9	4,504	1.9	425	
法人税等調整額	618	0.3	766	0.3	147	
四半期純利益	10,719	5.1	11,675	5.0	956	108.9
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,343	0.6	1,335	0.6	△8	99.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,375	4.4	10,340	4.4	965	110.3